

資料1 府域における土壤汚染の状況

(1) 府域の土壤汚染事例の状況（大阪府把握分）

		件数	備考
土壤汚染確認総数		38件	
土壤汚染調査の契機	地下水汚染の発見	5件	
	I S O取得時等の自主調査	19件	
	土地改変	13件	土地売却時調査を含む
	その他	1件	

(2) 府域の土壤汚染（廃棄物関係を含む）の主な事例

汚染物質	状況
ヒ素、セレン	液化天然ガス（LNG）基地の建設予定地 セレンは地盤改良工事の土砂に混じっていた疑い
ダイオキシン類、ベンゼン、ヒ素 など	道路拡幅予定地及びその周辺 水路が埋め立てられた際の廃棄物の投棄の疑い
フッ素、鉛など7種類	塗料工場 コンクリート製排水溝からの廃水漏出が原因の疑い
鉛、セレン、ヒ素など	住宅予定地（化学肥料工場跡地） 化学メーカーは「重金属は製造過程では使用せず」 重金属が別の場所から流れ込んだ可能性もある
総水銀、鉛、ヒ素	美術館建設地（大学理学部跡地）
総水銀	病院跡地 廃棄した温度調整器や体温計、消毒剤などから出た疑い
テトラクロロエチレン、トリクロロエチレン、鉛、ヒ素、総水銀	紡績工場跡地 有機塩素系化合物はドライクリーニング試験の廃液が浸透した疑い 重金属は軍需工場時代のものの可能性
ダイオキシン類、ヒ素	造船工場跡地 汚染土壌を容器に密閉し、造船工場内に封じ込め
総水銀、ヒ素、鉛	美術館等建設予定地（大学医学部跡地） 台風の浸水による汚染の可能性や廃棄処分の温度計の水銀が落ちた可能性
全シアン、ヒ素、P C Bなど9種類	マンション建設現場 廃棄物処理法制定前の産業廃棄物処分場跡地の疑い マンションは取り壊し

（平成12年2月～平成13年7月の新聞記事より作成）

(3) 大阪府域の土壌・地下水汚染の確認件数と対策の状況

区 分		確認件数	対 策 状 況	備考
地下水の汚染がない		14件	土壌汚染の対策済 6件 土壌汚染の対策中 2件 対策の計画中 6件	
地下水の汚染がある	～浄化基準の10倍	6件	土壌汚染の対策済 3件 土壌汚染の対策中 3件 対策の計画中 0件	
	10倍～30倍	5件	土壌汚染の対策済 1件 土壌汚染の対策中 3件 対策の計画中 1件	
	30倍～	13件	土壌汚染の対策済 2件 土壌汚染の対策中 10件 対策の計画中 1件	

(4) 大阪府内の比較的規模が大きい揮発性有機化合物使用事業所調査

調査対象事業所数	揮発性有機化合物使用事業所数	汚染調査を実施した事業所数	汚染が判明した事業所数
150事業所	117事業所	62事業所	15事業所

(5) 大阪府内の都市計画法に基づく開発許可件数

年 度	平成10年度	平成11年度	平成12年度
開発許可件数	1,051件	1,133件	1,175件